

※理容店 器具補正係数算定 (AW-6A)
1.71/8 1846-1.4-1.1832
1.30

是正内容

- ①. テナント-1、北側増築部撤去の上外壁、サッシ建具 (AW-4, AD-2) 復旧。
- ②. テナント-1、理容店の入口自動ドアをH=2000⇒H=1900に交換し、下り蓋H=300確保します。
- ③. 玄關ホールの上下の下り階段撤去。
- ④. エレベーター手前のアルミ製ドアと上部の下り蓋を撤去。
- ⑤. 網入ガラスの入れ替え。(AW-8&2, AW-9, AW-10, AW-11)
- ⑥. 理容店の換気扇の換気容量が43m³/h以下の場合には換気扇を追加します。

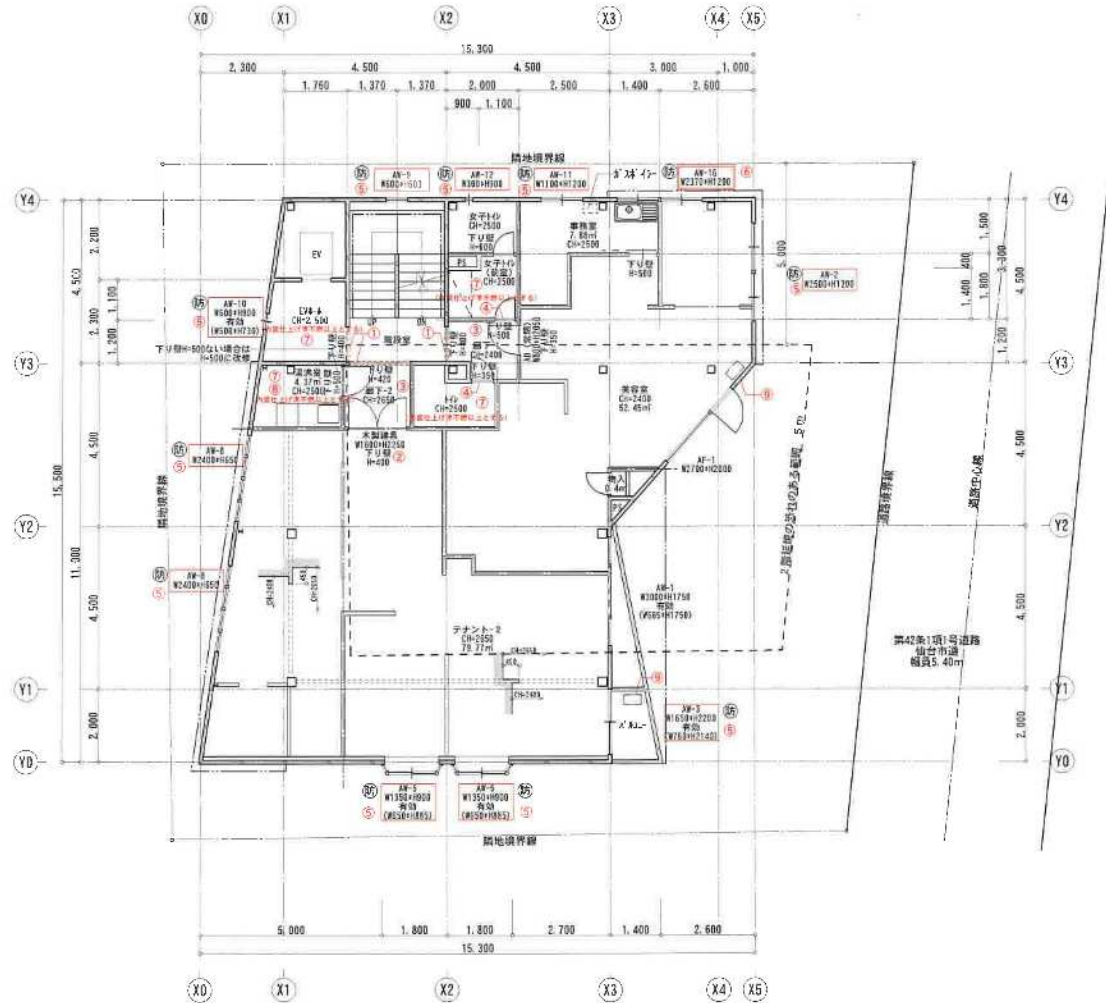
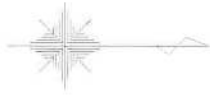
凡例

- ※ [Symbol] は防煙区画壁を示す。
- ※ [Symbol] はALC100壁 (1時間耐火) を示す。
- ※ [Symbol] はRC150壁を示す。
- ※ [Symbol] は防火設備を示す。
- ※ 建具符号の口枠は網入ガラス交換箇所を示す。
- ※ 建具符号の二重口枠はサッシ枠と網入ガラス、交換箇所を示す。
- ※ 建具符号の三重口枠は建具新設箇所を示す。

無窓階・普通階の算定

階	床面積	146.12㎡	必要開口面積	4.87㎡
普通階	有効開口面積	AD-1	1.62×2.15×1=3.48	3.48
	4.98㎡	AD-2	0.75×2.00×1=1.50	1.50

李香ビル 改修工事	DATE	H30.3.9
1階平面図	SCALE	1/100
	CHECK	DRAW
	NO.	A 01



修正内容

- ①. 下り壁3箇所H=800確保の為、防煙垂れ壁追加。
- ②. テナント2の入口木製ドアを、不燃のアルミ製ドア（常閉）に入替え。
- ③. 廊下-1、廊下-2を防煙区画とし、等、垂れ壁を不燃材料で覆う、非常照明の設置。
- ④. 女子トイレ前室、トイレの入口扉等を不燃のアルミ製ドア（常閉）に入替え。
- ⑤. 網入ガラスの入替え。（AW-2、AW-3、AW-5②、AW-8②、AW-9、AW-10、AW-11、AW-12）
- ⑥. サッシ枠を防火サッシに入替えし、網入ガラスとする。（AW-15）
- ⑦. EVホール、トイレ、女子トイレ前室、湯沸し室の内装仕上が準不燃以上でない場合は準不燃以上のクロス貼り替えとする。
- ⑧. 湯沸し室のオペレーターをテナント1側に移設する。
- ⑨. テナント1と実客室各々に緩衝機を設置する。

凡例

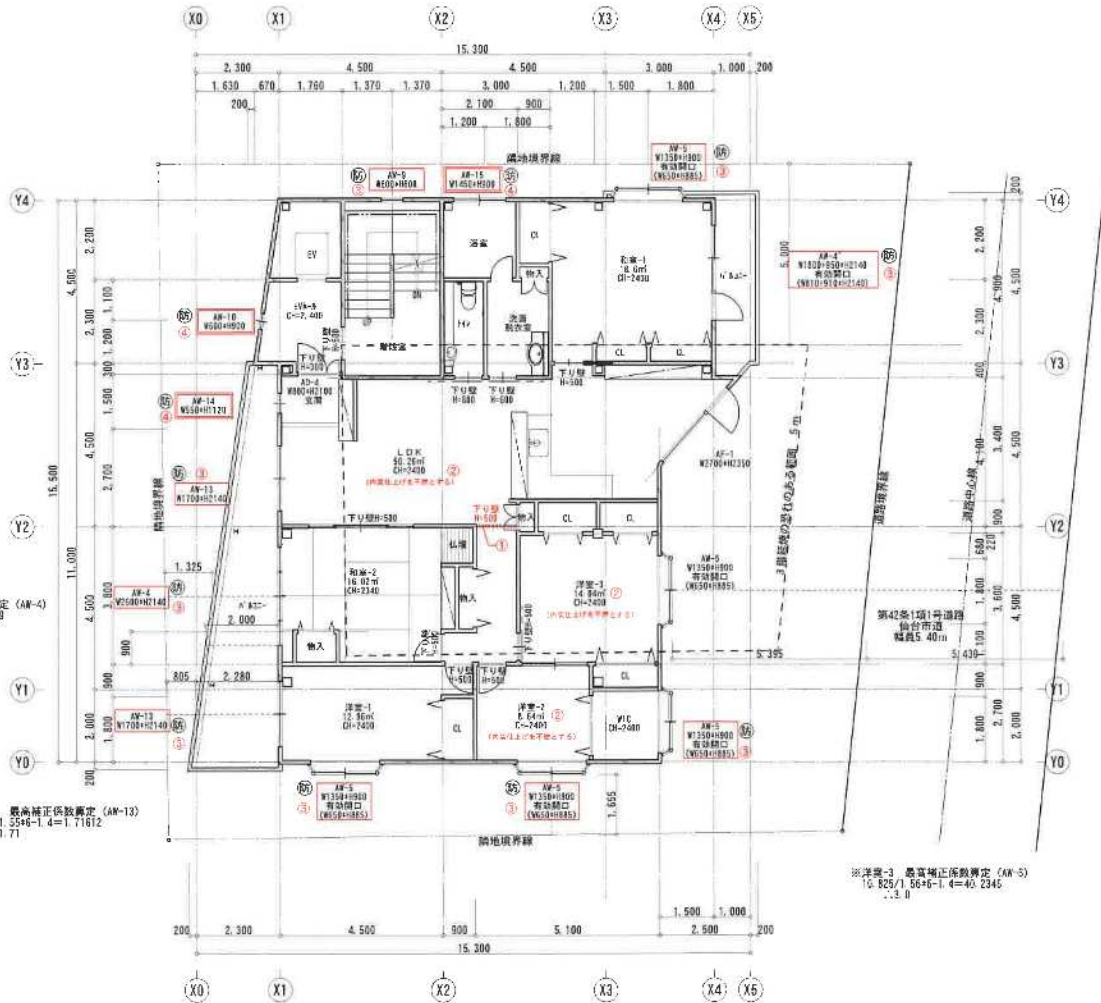
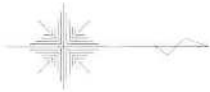
- ※ [Thick Line] は防煙区画壁を示す。
- ※ [Thin Line] はALC100壁（1時間耐火）を示す。
- ※ [Dashed Line] はRC150壁を示す。
- ※ [Circle with X] は防火設備を示す。
- ※ [Square with X] は建具符号の□枠は閉了を網入リガラス交換箇所を示す。
- ※ [Square with X] は建具符号の二重□枠はサッシ枠と格子状、交換箇所を示す。
- ※ [Square with X] は建具符号の三重□枠は建具新設箇所を示す。

無窓館・普通館の算定

2層 普通館	床面積 有効開口面積	床面積 6.61㎡	必要開口面積	必要開口面積 6.14㎡	
	AW-1	0.665×1.75×1=1.16		1.16	
	AW-2	0.50×1.20×2=1.20		1.20	
	AW-3	0.75×2.14×1=1.66		1.66	
	AW-5	0.62×0.885×2=1.0974		1.09	
	AF-1	0.75×2.00×1=1.50		1.50	

※ 測防用算定寸法については、AW-5は全葉した開の狭いW開口を採用とする。

李香ビル 改修工事	DATE H30.3.9
2層状況平面図	CHECK DRAW
SCALE 1/100	
	NO. A 02



- ① LDK~廊下間に防煙垂壁H=500(納入り) 52t=6.8) 追加
- ② 防煙区画の壁は不燃材料で覆う。(LDK、洋室-2、洋室-3)
- ③ 納入ガラスの取替え。(AW-4、AW-4、AW-5+4、AW-9、AW-13+2)
- ④ サッシ枠を防火サッシに入替えし、納入ガラスとする。(AW-10、AW-14、AW-15)

※洋室-2 煙幕補正係数算定 (AW-4)
1.325/1.55+6-1.4=3.723

※洋室-1 煙幕補正係数算定 (AW-13)
0.805/1.35+6-1.4=1.71612
=1.71

※洋室-2 煙幕補正係数算定 (AW-5)
1.855/1.55+6-1.4=4.8663
=3.0

※洋室-3 煙幕補正係数算定 (AW-5)
1.625/1.55+6-1.4=4.2346
=3.0

凡例

- ※ ① は防煙区画壁を示す。
- ※ ② はALC100壁 (1時間耐火)を示す。
- ※ ③ はRC150壁を示す。
- ※ ④ は防火設備を示す。
- ※ 建具符号の口枠は硝子を納入リガラス交換箇所を示す。
- ※ 建具符号の二重口枠はサッシ枠と硝子枠、交換箇所を示す。
- ※ 建具符号の三重口枠は建具新設箇所を示す。

煙幕・普通煙					
3階	床面積	174.18㎡	必要開口面積	5.80㎡	
普通煙	有効開口面積	AW-4	0.81×0.91×2.14×1=3.6808		3.68
	6.65㎡	AF-1	0.8×2.35×1=1.88		1.88
		AW-5	0.82×0.88×2=1.8574		1.69

※ 消防員算定寸法については、AW-5は全開した際の採いW開口を採用とする。

事務ビル 改修工事	SCALE	DATE
3階平面図	1/100	4.30.3.9
		CHECK DRAW
		h.c. A 03